

平成24年12月分の食肉加工品仕向肉量 (単位:t,%)

区 分	仕向肉量	前年同月比	24年累計	前年同期比	
豚 肉	国内物	7,388.7	100.1	77,409.4	100.8
	輸入物	28,100.5	98.1	305,123.4	100.3
	合 計	35,489.2	98.5	382,532.8	100.4
成牛肉	国内物	112.8	97.0	910.4	103.3
	輸入物	1,481.8	117.3	12,871.0	118.5
	合 計	1,594.6	115.6	13,781.4	117.3
子牛肉	国内物	0.3	75.0	5.1	154.5
	輸入物	6.4	48.1	77.7	34.7
	合 計	6.7	48.9	82.8	36.5
馬 肉	国内物	7.3	115.9	77.5	110.9
	輸入物	39.4	92.7	556.8	83.1
	合 計	46.7	95.7	634.3	85.7
緬羊肉	国内物	0.0	----	0.0	----
	輸入物	46.2	87.5	474.8	80.7
	合 計	46.2	87.5	474.8	80.7
山羊肉	国内物	0.0	----	0.0	----
	輸入物	0.0	----	0.0	----
	合 計	0.0	----	0.0	----
鶏 肉	国内物	4,374.3	145.7	41,743.4	108.7
	輸入物	384.1	64.3	4,459.4	72.0
	合 計	4,758.4	132.2	46,202.8	103.6
合 計	国内物	11,883.4	113.1	120,145.8	103.4
	輸入物	30,058.4	98.2	323,563.1	100.3
	合 計	41,941.8	102.0	443,708.9	101.1
うさぎ肉	国内物	0.0	----	0.0	----
	輸入物	0.0	----	0.0	----
	合 計	0.0	----	0.0	----
魚 肉	国内物	18.3	96.8	191.9	81.6
	輸入物	29.1	132.3	194.3	103.4
	合 計	47.4	115.9	386.2	91.3
【参考】					
豚肉調製品	8,449.2	118.7	88,346.6	112.3	
うちシーズンドポーク	8,446.8	118.7	88,320.0	112.3	

資料：日本ハム・ソーセイジ工業協同組合調べ「食肉加工品等流通調査」

注) 1. 仕向肉量は食肉加工工場より報告された数量である。

「食肉加工品仕向肉量・12月」単月でも、24年累計でも前年上回る。日本ハム・ソーセイジ工業協同組合がまとめた12月の食肉加工品仕向肉量によると、12月に生産されたハム・ソーセイジ製品の原料に仕向けられた数量の合計は、4万1941トン(前年同月比2.0%増)と、前年同月水準を上回る結果となった。24年の累計でも44万3708トン(同1.1%増)と、前年を上回った。

畜種別の原料では、豚肉は3万5489トン(同1.5%減)。国内物は前年とほぼ同水準となったが、輸入物が前年を下回った。そのほか成牛肉は1595トン(同15.6%増)、鶏肉は4758トン(同32.3%増)で、ともに前年を上回った。

また、シーズンドポークが大半を占める豚肉調製品は、8449トン(同18.7%増)と伸長が続いており、24年累計でも8万8347トン(同12.3%増)の2ケタ増となった。

ジエトロ口が2月26日から香港と台湾で商談会、ミートCなど参加

ジエトロ口は2月26日(3月2日)、日本産食品の輸出促進を目的に中小企業39社を香港、台湾に派遣し現地バイヤーと商談会を実施する。食肉関係では(株)ミートコンパニオン、いわて門崎丑牧場(有)、飯島畜産(株)が出展。商談会には香港、台湾ともに現地の輸入卸売・小売業者30社以上が参加する。加えて香港ではマカオからジエトロ口が招へいたバイヤーも日本企業と商談を予定している。